

令和8年度富山県生物学会 議事録

日時：令和8年5月23日（土）

場所：富山県中央植物園

参加者：稲村、中田、福田、山崎、吉田、高山、氷見、高橋、岩田、不破、草間、杉田、金子（芳）、屋敷、小野寺

総会協議題

- 1 令和7年度事業報告 『富山の生物』65号 p125「学会記事」に掲載
- 2 令和7年度会計報告 令和8年度予算案 資料①
- 3 令和7年度会計監査報告 石須秀知氏と吉田めぐみ氏が監査 資料②
- 4 令和8年度役員 資料③
- 5 令和8年度事業予定 『富山の生物』 65号 p127に掲載
公開講演会 5月23日（土）中央植物園で開催
総会 5月23日（土）公開講演後開催
生物総合調査 6月28日（日）・9月27日（日） 和田川水系 別紙④
公開観察会 8月30日（日）有峰森林文化村と共催（福田、草間、佐藤）
研究発表会 11月29日（日）富山市科学博物館
『富山の生物』66号発行 令和8年3月 PDF
『富山の生物』の公開（HP上）発刊後2年が経過したものをPDFで公開する

全員：異議なし

6 その他

- 富山県生物学会 100周年記念報告
 - ・イベント 富山の“いきもの”を語ろう 『富山の生物』 65号 p126に掲載
 - ・1冊子 富山の小河川流域の生き物 2026年
<https://note.com/toyamaseibutu/n/n5e491e7dba8d>
- 富山県自然保護課からの依頼
令和7年度レッドデータ更新にかかる野生動物の調査等業務
調査等業務契約と報告の概要 別紙⑤

岩田：希少種が調査中に出現しなかった場合は、「報告なし」でよければ協力する。

稲村：令和7年の哺乳類では「報告なし」あった。また、他の分野から提供を受けた情報を反映させて大丈夫。

高山：陸生貝類のデータは提出しなくてもよいか？

稲村：布村さんの取りまとめているカテゴリーに入れましょう。

白石：調査したが、見つからないことがあるため、努力値として調査日のみの報告は必要か？
また、学会員でない方からの情報提供は含めるか？

稲村：調査日のみの報告は必要ない。

学会員以外からの情報提供は写真など信憑性の高いものは反映させて良いと思う。

○ オンライン出版について

来年度(R8)「富山の生物」No66以降は電子化する。

PDFデータだけの納品、および、J-stageへの登載代行は、印刷業者で受付可能。

現印刷業者は登載代行については未経験だが受注に前向きとの回答。

仮に64号をPDFデータだけの納品とした場合、モノクロでもオールカラーでも156,200円。J-stageへの登載代行業務は別途費用がかかるが、発注内容により価格調整できるとのこと。予算でできる範囲の業務を発注すれば問題ない。詳細は再見積が必要。

岩田：投稿規定と会則を一部変更する必要があるため、会長権限で変更する予定である。

稲村：現在、細かい部分を調整中であるため、決まり次第報告する。

福田：オンライン出版に伴い、原稿の提出方法など、これまで何か変化はあるか？

岩田：基本的にはこれまでどおり。PDF版化に伴い、用紙サイズがB5からA4に変更なるので、提出のテンプレートが若干変更になる程度。

PDF版であっても10ページ以降は編集料として追加金を徴収する。

J-Stage登載に伴い、公開年数を2年後から1年後に変更になる可能性がある。

杉田：オンライン版になるのであれば、即オープンアクセスにしても良いのではないだろうか。

稲村：オープンアクセス自体は賛成だが、会費を払う人がいなくなる心配がある。

○ 次期会長と事務局について

稲村：会長の任期があと1年であるため、次期会長について副会長で検討してほしい。

また、現在魚津水族館に置いてある事務局はどうするかも検討が必要。

不破：バックナンバーが大量にあるので、その保管も事務局でやる必要がある。

岩田：PDFで公開するのであれば、過去の製本版は不要になる。不要であれば、富山市科学博物館で引き取って配布資料とする。